

# PMAJ<sub>J</sub>OURNAL

2014 NO. 48

## 特集

PMシンポジウム2013

新たな価値創造、そして成長

地域P2M研究部会報告

理論と実践



特定非営利活動法人  
日本プロジェクトマネジメント協会  
<http://www.pmaj.or.jp/> [admi@pmaj.or.jp](mailto:admi@pmaj.or.jp)



環境問題を考慮して  
大豆由来の大豆インキ  
を使用しています。



|       |                                   |                                     |                   |
|-------|-----------------------------------|-------------------------------------|-------------------|
| 巻頭言   | ジャーナル 48 号の読み方                    | 編集 部                                | 3                 |
| 特集 I  | 「PM シンポジウム 2013」～新たな価値創造、そして成長～   |                                     |                   |
|       | 挨拶                                | 「開会挨拶」、「来賓挨拶」、「来賓挨拶」                | 光原 昭男、高橋 誠、谷 明人 4 |
|       | 基調講演 I                            | 「創発的破壊：パラダイムチェンジとイノベーション」           | 米倉 誠一郎 8          |
|       | 基調講演 II                           | 「ダイバーシティが経済成長のキーワード」                | 佐々木 かをり 13        |
|       | シンポジウム概要                          | 「PM シンポジウム 2013」実行プロジェクト            | PM シンポジウム実行委員会 17 |
|       | シンポジウム概要                          | イベント関連報告                            | 企画・運営スタッフ 23      |
|       | IT トラック                           |                                     |                   |
|       | IT-1：「ツールを利用した WBS の再利用性向上」       | 森川 勇治                               | 26                |
|       | IT-2：「成功例に学ぶ、組織の PM 強化の具体策」       | 梅田 弘之                               | 28                |
|       | IT-3：「IT サービスが支える企業の海外進出」         | 大橋 秀昭                               | 30                |
|       | IT-4：「アジャイル開発とスクラム」               | 平鍋 健児                               | 32                |
|       | P2M トラック                          |                                     |                   |
|       | PA-1：「ドロッカーに学ぶイノベーションのマネジメント」     | 緒方 慎八                               | 34                |
|       | PA-2：「ニュービジネス立ち上げ」                | 千葉 剛道                               | 36                |
|       | PA-3：「企画の無い仕事のマネジメント」             | 中川 幸美                               | 38                |
|       | PA-4：「プロジェクトの真のグローバル化のために」        | Bryan R. Moser                      | 40                |
|       | エンジ・建設・公共トラック                     |                                     |                   |
|       | EG-1：「オーケストラを地域の宝に」               | 林 宏典                                | 42                |
|       | EG-2：「超マルチベンダー（マルチプロジェクト）のマネジメント」 | 井形 繁雄                               | 44                |
|       | EG-3：「ERP でプロジェクトを可視化する」          | 増川 順一                               | 46                |
|       | EG-4：「eocBCP によるスマートシティ創造」        | 那須原 和良                              | 48                |
|       | 製造トラック                            |                                     |                   |
|       | MS-1：「国際有人宇宙プロジェクトの技術の伝承」         | 伊藤 剛                                | 51                |
|       | MS-2：「統型型マネジメントの経緯」               | 斎藤 ウィリアム 浩幸                         | 53                |
|       | MS-3：「行動観察とは？」                    | 磯 龍介                                | 54                |
|       | 金融・流通・サービストラック                    |                                     |                   |
|       | FI-1：「小売業におけるライフログ活用」             | 大久保 龍一                              | 56                |
|       | FI-2：「オムニチャネル時代のセブン & アイネット戦略」    | 飯田 克也                               | 58                |
|       | FI-3：「流通 BMS が流通企業を強くする」          | 坂本 尚登                               | 59                |
|       | PM 人材育成トラック                       |                                     |                   |
|       | PS-1：「模擬プロジェクトによる PM 教育」          | 斎藤 潔、石井 浩瑞                          | 62                |
|       | PS-2：「オフショア開発マネジメント成功の条件」         | SUKUMAN THING TAMANG                | 64                |
|       | PS-3：「PM 教育における「新 7 つの誤解」」        | 長尾 清一                               | 65                |
|       | PS-4：「ワンランク上の PM をめざして」           | 向後 忠明                               | 67                |
|       | 価値創造トラック                          |                                     |                   |
|       | VC-1：「顧客価値創造の開発手法」                | 竹腰 重徳                               | 70                |
|       | VC-2：「日立での震災復興への取り組み事例」           | 庄司 貞雄                               | 71                |
|       | VC-3：「『学び』をデザインする」                | 大久保 理                               | 74                |
|       | VC-4：「農業イノベーション無くして日本の未来はない」      | 加藤 百合子                              | 77                |
| 特集 II | 「地域 P2M 研究会」報告～理論と実践～             |                                     |                   |
|       | 東北 P2M 研究会                        | 活動報告：東北の研究会がやっと歩み始めました！             | 川口 莊太郎 80         |
|       | 東京 P2M 研究会                        | 活動報告：手応えを得るための活動                    | 渡部 寿春 83          |
|       | 中部 P2M 研究会                        | 活動報告：中部 P2M 研究会の成り立ちと活動状況、今後の展望について | 浦 広道 89           |
|       |                                   | 寄稿論文：プロジェクトのバリエーションについて一考察          | 高木 浩之 93          |
|       | 関西 P2M 研究会                        | 活動報告：関西 P2M 研究会 新たな出発（たびだち）         | 土肥 正利 97          |
|       | 中四国 P2M 研究会                       | 活動報告：P2M とアジャイルをコーディネートした試み         | 石橋 伸介 100         |
|       | P2M 研究会                           | 活動報告：九州 P2M 研究会活動について               | 松本 忠行 102         |
| 広告    |                                   |                                     | 106               |
| 編集後記  |                                   | 編集 部                                | 107               |

## 巻頭言

編集部

ジャーナル 48 号をお届けいたします。  
今号の特集は「PM シンポジウム 2013」と「地域 P2M 研究会」報告となっております。

### 特集 I「PM シンポジウム 2013」～新たな価値創造、そして成長～

第 16 回「PM シンポジウム 2013」は、11 月 21 日、22 日に、参加者数約 2000 名の方々が参加され、盛大に成功裏に終了致しました。ご参加頂いた方々、ご講演頂いた方々、ボランティアでご協力頂いた方々、及びご支援頂いた関係各位に、心よりお礼申し上げます。参加者アンケートでは高い評価（満足度：初日 84%、2 日目 93%）を頂いています。皆様方のご感想は如何でしたでしょうか？ご意見等ございましたらお寄せ頂きたいとお願ひ致します。そのシンポの概要をお伝えすべく、シンポ特集を掲載しました。これもボランティアの方々による執筆です。お忙しい中、ご協力頂いた皆さまにお礼申し上げます。

### 特集 II「地域 P2M 研究会」報告～理論と実践～

本号のもう一つの特集が、「地域 P2M 研究会」です。  
各地域に於ける「P2M 研究会」活動の現状と課題及び今後の計画・期待についてご報告頂きました。P2M の新たな可能性を模索したいと思います。下記の「地域 P2M 研究会」部会長からご寄稿頂きました。

|             |             |
|-------------|-------------|
| 東北 P2M 研究会  | (川口 莊太郎部会長) |
| 東京 P2M 研究会  | (渡部 寿春部会長)  |
| 中部 P2M 研究会  | (浦 広道部会長)   |
| 関西 P2M 研究会  | (土肥 正利部会長)  |
| 中四国 P2M 研究会 | (石橋 伸介部会長)  |
| 九州 P2M 研究会  | (松本 忠行部会長)  |

